

診療情報および検体（試料）を利用した臨床研究について

虎の門病院 病理部および腎センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族の診療情報・検体（試料）を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2003年1月1日から2021年3月31日まで虎の門病院および虎の門病院分院で腎臓に沈着を伴う全身性アミロイドーシスと診断された方。

【研究課題名】

全身性アミロイドーシス患者における腎臓へのアミロイド沈着と腎機能・予後に関する病理組織学的検討

【研究の目的・背景】

全身性アミロイドーシスのうち原疾患に続発して生じる種類のアミロイドーシスでは、その原疾患の改善に伴いアミロイド線維の沈着量が減少する可能性が指摘されています。当研究では治療を行った全身性アミロイドーシスについて、腎生検標本における病理学的事項について評価し、アミロイド沈着の推移と腎機能との相関を検討します。

【研究のために診療情報・検体（試料）を解析研究する期間】

院長承認日から2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 病理部 河野 圭のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報・検体（試料）】

診療情報：病理検査結果

診療録(年齢、性別、臨床的検査所見、既往歴/併存症の有無、治療経過など)

検体（試料）：腎生検検体(光学顕微鏡用・蛍光抗体法用・電子顕微鏡用)

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院病理部 高澤 豊

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報・検体（試料）の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報・検体（試料）が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年1月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【研究資金】

虎の門病院 院内研究費を研究資金とします。

【相談窓口】

虎の門病院 病理部 河野 圭

電話 03-3588-1111(代表)